

県医師会とAMDA 大災害に備え 支援協定締結

震災などに備え、国内外で医療活動を行っている岡山市の認定NPO法人・AMDAとの間で支援に関する協定を結んだ。

徳島市の県医師会事務所で締結式があり、川島周会長とAMDAの菅波茂代表が協定書を交わした。協定では

大規模災害発生時、県医師会がAMDAに応援を要請。AMDAは医師や看護師、調整員を派遣して医療救護に当たるほか、被災者の健康支援活動も行う。

AMDAはこれまでに県などとも協定を結んでいる。災害時に県と連携し、医師の活動調整を担う県医師会も協定を結ぶことで、関係機関の連携を強めるのが狙い。

川島会長は「南海トラフ巨大地震は被害が広範囲のため、支援が受けられず孤立する不安があった。協定できたことはありがたい」と話した。(新居拓也)



協定書を交わして握手する川島会長(左)と菅波代表(右)＝徳島市の県医師会事務所

徳島県医師会は22日、南海トラフ巨大地